

# 未来を拓く人づくり

## 毛呂山町の小中一貫教育

学校教育の基本理念

地域をつなぎ「いのち」輝く日本一の学校づくり



### 学びが繋がります

- 学力・体力向上を図る  
連続性のある学習活動
- 「いのちの教育」を通した  
生きる力の育成

### 人と人が繋がります

- 児童生徒・教職員・地域との  
交流活動が充実



毛呂山町では、令和3年度より、各中学校区の特徴を活かしながら、町内全小・中学校で小中一貫教育を実施します。

学習指導要領を基本として、義務教育9年間を一体のものとしてとらえ、連続性・発展性をもって子供たちの育成にあたります。

<毛呂山町の小中一貫教育とは>

中学校区の小・中学校で共通の目標（目指す児童生徒像）設定し、指導内容及び指導方法が義務教育9年間を貫いて設定され、実施される教育です。



<主なねらい>

小・中学校 9 年間の見通しをもって、連続性のある教育課程を編成し、「いのちの教育」を通して子どもの「生きる力」を育成する。

# めざす子ども像 夢をもち 世界にはばたく 毛呂山の子ども

## 学びが繋がります

◆学力・体力向上を図る連続性のある学習活動

### ☑学び方のつながり



【学力向上 授業の心得 小・中版】

授業の進め方、家庭学習への取り組み方のスタンダード化により、小・中学校の学び方が繋がります。



【もろ丸くん学習ノート】



### ☑学習指導法のつながり



【学力向上毛呂山プラン】

### ☑学習規律のつながり



【毛呂山っ子みんなの学習規律など】

小・中学校の教職員が指導方法の統一化を図り、学力向上の取組が繋がります。



## 人と人が繋がります

◆児童生徒・教職員・地域との交流活動が充実

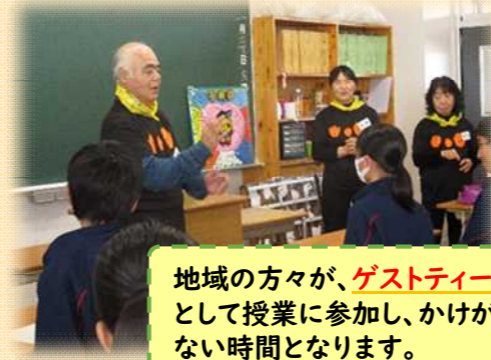
### ☑小学校児童・中学校生徒の交流



授業や学校行事を合同で行うことにより、児童と生徒の心が繋がります。



### ☑地域との交流

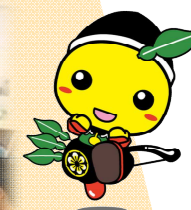


地域の方々が、ゲストティーチャーとして授業に参加し、かけがえない時間となります。

### ☑小・中学校教職員の交流







小・中学校の教職員が合同研修会を行い、互いのよさを学び、指導力の向上を図ります。



## 「いのちの教育」を実施します

◆生きる力の育成に向け、9年間を見通した学習活動を展開

令和元年度の活動を参考に作成

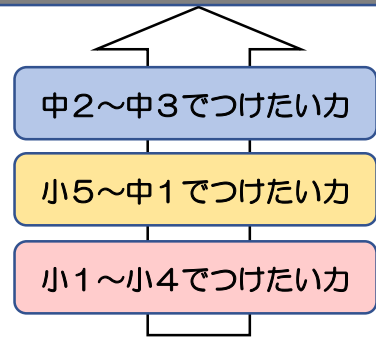
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	中1	中2	中3
教科・領域等	<b>国語</b> ・動物の赤ちゃん <b>道徳</b> ・命があってよかった 	<b>生活</b> ・野菜を育てよう <b>道徳</b> ・たんじょう日 	<b>国語</b> ・ちいちゃんのかげおくり <b>理科</b> ・動物のからだのつくり 	<b>理科</b> ・生き物の1年間 <b>保健体育</b> ・育ちゆく体とわたし 	<b>社会</b> ・食糧生産 <b>保健体育</b> ・事故やけがの防止 <b>総合的な学習の時間</b> ・米作り 	<b>道徳</b> ・かけがえのない命 <b>保健体育</b> ・病気の起こり方 ・がん教育 	<b>保健体育</b> ・生命の誕生 <b>総合的な学習の時間</b> ・いのちの授業 	<b>理科</b> ・生物のからだのつくりとはたらき <b>保健体育</b> ・傷害の防止 ・応急手当、救命措置 	<b>理科</b> ・生命の連続性 <b>保健体育</b> ・健康と環境 <b>総合的な学習の時間</b> ・保育実習 ・赤ちゃん抱っこ、妊婦体験 ・福祉体験 
行事・その他	<b>目標</b> ◎自分が愛されていることを自覚し、自分の命を大切にする。 ◎友達と協力して生活し、自他の生命を大切にする。			◎自己有用感を高め、自他の生命を大切にする。			◎自他の存在を認め合い、共によりよく生きようとする。		
	避難訓練【火災・地震・自然災害・不審者対応】 / 中学校区小中学校合同一斉下校 / 災害時保護者引き渡し訓練 / 消防署との連携【煙体験・消火器体験・AED実習】 / 警察署との連携【交通安全教室】								
	小中学校音楽交流会 / 部活動体験								


**がん教育**  
がんの予防、早期発見・検診等について関心を持ち、がんに対する正しい知識と、がんと向き合う人への正しい認識を身に付けることを目標に主体的に学習をします。教職員研修では、**埼玉医科大学**と連携を行っています。

**赤ちゃんとのふれあい授業**  
学校にお母さんと赤ちゃんを招き、抱っこや妊婦疑似体験をします。生徒は自分自身の成長に気付いたり、感謝の気持ちを持ち、これからの生き方を考えたりします。

# 義務教育9年間のとらえ方

- 子供たちの発達段階を考慮し、各中学校区の実態に応じて『4・3・2』の区分(一例)による教育活動を実践します。
- 小・中学校9年間の見通しをもち、連続性のある教育課程を編成し、「いのちの教育」を通して子どもの「生きる力」を育成します。
- 全町で取り組む内容と、各中学校区の特性を活かした内容を合わせ、教育課程を編成・実施します。



保育園 幼稚園	教育課程	小学校課程6年						中学校課程3年		
	指導区分	基礎・基本【4年】				習熟・接続【3年】		充実・発展【2年】		
年長	学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
○毛呂山町幼保小接続期プログラム ○埼玉県子育ての目安「三つのめばえ」 「生活」「他者との関係」「興味・関心」	指導体制	学級担任制				一部教科担任制		教科担任制		
	指導のめあて	学習指導、生活習慣の基礎・基本の徹底				小・中の円滑な接続と学習の習熟・定着		義務教育の仕上げ・進路指導の充実		
	指導内容	○基礎・基本の習得 ○学習規律の確立 ○生活習慣の確立 ○集団生活のルールなど 				○基礎・基本の定着 ○学び方の習得 ○よりよい生活習慣の確立 ○規範意識の醸成など		○基礎・基本の活用 ○自主的な学習習慣の獲得 ○自治的能力の醸成 ○社会生活への適応		

## 小中一貫教育 Q&A

### Q.小中一貫した教育の成果として期待できるものは何ですか？

- A. ①小学校では、中学校教員による、より専門性を活かした授業や高学年の教科担任制、中学校では、生徒たちの様子をよく知る小学校教員とのTT(チームティーチング)授業など、多様な学習形態が可能になり、児童生徒の学習意欲を高め学力の向上を図ることができます。
- ②小・中学校の教員が協働して、9年間を見通した連続性のある指導を行うことにより、児童生徒への不安感を軽減することができるとともに、家庭と連携した生徒指導上の諸問題への継続的な対応が可能になります。
- ③小学校と中学校の教員が互いの指導方法のよさを学び合うことで、授業改善が図られます。

### Q.小中一貫教育とコミュニティ・スクールの関連は？

- A. 「小中一貫教育」は、小・中学校の教職員が共通の目標を共有し、義務教育9年間を貫いて編成する教育内容や指導方法によって実現する教育をするための方策のことです。
- 「コミュニティ・スクール」は、教育委員会から任命された保護者や地域の方々(学校運営協議会)が、学校の運営方針を承認したり、学校を支援する活動のため学校と地域とをつなぐパートナーとなったりする「学校と地域を結ぶ仕組み」のことです。どちらも、中学校区を単位として、小・中学校がネットワークを作り、児童生徒に多様な人との関わりをもたせ成長させたいとの共通の願いがあります。こうした意味からも小中一貫教育とコミュニティ・スクールとを一体的に推進することで大きな成果があがります。